



# 景観・屋外広告物研修会報告、 ぐんまの風景を魅せるインフラ事業

群馬県 県土整備部 都市計画課

## 1 国土交通大学校研修報告

群馬県都市計画課まちづくり室景観形成係の石塚です。

2022年6月21日から6月24日はオンライン、6月27日から7月1日は東京都小平市の国土交通大学校で開催された「景観・屋外広告物行政研修」を受講しました。

講義では、景観法や屋外広告物法等の基本法令を学び、景観の基礎理論や景観と屋外広告物デザインのあり方等の景観・屋外広告物行政に必要な基礎知識を習得することができました。また、現地見学では横浜市内を歩き、景観の理論がどのように活用されているかを解説していただき、その整備効果を体験することで、より具体的に景観形成の事例を学ぶことができました。

研修には、全国の自治体から28名が参加しており、各自治体の様々な施策を知ることができ、大変勉強になりました。今回習得した知識を群馬県景観・屋外広告物行政の施策に生かせるように、取り組んでいきます。

## 2 群馬県の景観・屋外広告物行政の紹介

### (1) ぐんまの風景を魅せるインフラ整備

地域の魅力を高め、「もっと住みたくなる・もっと訪れたいくなる・もっと自慢したくなる」群馬県をつくるため、県内のインフラ施設やそこから見える風景を魅せる取り組みとして「ぐんまの風景を魅せるインフラ整備」を進めています。

「ぐんまの風景を魅せるインフラ」を整備するために、必要な視点や項目をわかりやすく示した「ぐんまの風景を魅せるインフラ整備チェックシート」を作成し、設計から施工、完成まで一貫した考え方で進めるよう以下の観点に留意し、活用しています。

- ① 現場の地形や風景の特徴を把握する
- ② どこから何を魅せるのかを考える(視点場を決める)
- ③ 何に配慮して設計を進めたらよいかを考える
- ④ 設計時の考え方を施工にも必ず反映させる

上信自動車道や(都)コンベンション施設北口線で「モデル事業」に取り組んでいるほか、土木事務所の担当職員を対象に景観形成に対する意識と技術力の向上を目的とした「スキルアップチャレンジ」も行っています。

### モデル事業例



写真1 道路附属物の色彩統一や無電柱化の実施  
(上信自動車道(金井バイパス) 渋川市内)



写真2 織物を意識したインターロッキング舗装  
(都)コンベンション施設北口線 高崎市内)

### (2) 景観誘導地域

観光ルート等における良好な景観形成を図り、観光県ぐんまの魅力を高めることを目的に、平成29年度に群馬県屋外広告物条例の一部を改正し「景観誘導地域」制度を設けています。

「景観誘導地域」に指定された地域では、地域の景観特性に応じた屋外広告物の規制を行います。

これまでに、上信自動車道景観誘導地域、甘楽町景観誘導地域、西毛広域幹線道路景観誘導地域の3地域を指定し、良好な景観の形成を図っています。

上信自動車道景観誘導地域  
(新設バイパス区間)の  
規制イメージ

